



## 令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年11月11日

上場会社名 パルステック工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6894

URL <https://www.pulstec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 幸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 工藤 孝史

(TEL) 053-522-5176

四半期報告書提出予定日 令和2年11月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績 (令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	779	△16.4	△23	—	△24	—	△24	—
2年3月期第2四半期	931	△11.8	109	△33.1	112	△37.0	71	△40.9

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 △25百万円 (—%) 2年3月期第2四半期 68百万円 (△45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	△17.86	—
2年3月期第2四半期	51.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	3,815	2,808	73.6
2年3月期	3,795	2,909	76.7

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 2,808百万円 2年3月期 2,909百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
3年3月期	—	0.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和3年3月期の連結業績予想 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	△13.7	200	△43.1	215	△40.9	183	△16.5	134.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年3月期2Q	1,393,459株	2年3月期	1,393,459株
3年3月期2Q	24,876株	2年3月期	24,876株
3年3月期2Q	1,368,583株	2年3月期2Q	1,368,583株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、移動の自粛や在宅勤務、休業等の対策により一時は終息傾向となりましたが、首都圏を中心に新たな感染が続いており、個人消費の低迷や雇用環境の悪化に歯止めがかからず、一段と厳しい状況下で推移いたしました。海外におきましても、多くの国や地域で新型コロナウイルス感染症の拡大が深刻化するとともに、米中貿易摩擦、地政学的リスクの高まりなどにより不透明感が一層強まっており、予断を許さない状況で推移いたしました。

当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動縮小の影響により、輸送機器関連業界を中心に厳しい受注環境となりましたが、ヘルスケア関連につきましては、新規開発や量産移行案件の増加により好調に推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、国内外の展示会や学会等が徐々に再開され、海外渡航規制も一部で緩和されましたが、従来の環境とは程遠い状況であるため、顧客とのWEB会議の開催、ホームページの拡充、インターネットを活用した動画配信など、新たな営業スタイルの構築に積極的に取り組むことにより、受注確保に注力いたしました。

以上の結果、売上高は7億79百万円（前年同期比16.4%減）、営業損失は23百万円（前年同期は1億9百万円の利益）、経常損失は24百万円（前年同期は1億12百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は24百万円（前年同期は71百万円の利益）となりました。

なお、当社グループは、前連結会計年度までは、電子応用機器・装置事業の単一セグメントでしたが、第1四半期連結会計期間より、「X線残留応力測定装置関連」、「ヘルスケア装置関連」、「光応用・特殊機器装置関連」の3つのセグメントに変更しております。

X線残留応力測定装置関連につきましては、対面による商談等も少しずつ再開され、中止や延期となっていた国内外の展示会、学会、内覧会等が一部で再開されたものの、感染リスク対策により営業活動も限定的となり、SNSによる情報発信やWEB会議などを積極的に取り入れ受注確保に注力しましたが、顧客における生産縮小、勤務体系の変更、設備投資予算の凍結や導入時期の先送りなどの影響により、売上高は2億26百万円（前年同期比23.2%減）、セグメント利益は33百万円（前年同期比48.9%減）となりました。

ヘルスケア装置関連につきましては、遺伝子検査装置、その他医療機器の受託開発やリピート受注に加え、新たな受託開発・試作・量産等の引合いも好調に推移したことから、売上高は2億72百万円（前年同期比84.8%増）となりましたが、量産品の本格生産立上げに伴う一時的な製造原価の増加により、5百万円のセグメント損失（前年同期は31百万円の利益）となりました。

光応用・特殊機器装置関連につきましては、主要顧客からの専用検査装置は引き続き堅調に推移したものの、生産調整による出荷台数の減少や新たな個別案件の引合いの減少により、売上高は2億79百万円（前年同期比42.8%減）、セグメント利益は78百万円（前年同期比57.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて19百万円増加し、38億15百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億71百万円、仕掛品が1億28百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が5億34百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて1億21百万円増加し、10億6百万円となりました。これは主に、長期借入金が1億34百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億1百万円減少し、28億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金が99百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて4億71百万円増加し、14億70百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4億38百万円となりました。

主な増加要因は、売上債権の減少5億35百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加1億10百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、19百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出20百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、60百万円となりました。

主な増加要因は、長期借入れによる収入1億40百万円であり、主な減少要因は、配当金の支払額73百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の連結業績予想につきましては、令和2年5月13日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	998,901	1,470,393
受取手形及び売掛金	984,496	449,605
仕掛品	495,412	623,714
原材料及び貯蔵品	144,617	127,178
その他	29,657	23,790
流動資産合計	2,653,085	2,694,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	249,477	252,612
その他(純額)	342,961	322,870
有形固定資産合計	592,439	575,482
無形固定資産	37,472	34,861
投資その他の資産		
投資その他の資産	522,456	519,384
貸倒引当金	△9,900	△8,900
投資その他の資産合計	512,556	510,484
固定資産合計	1,142,469	1,120,828
資産合計	3,795,554	3,815,511
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	194,454	201,509
1年内返済予定の長期借入金	10,320	10,320
未払法人税等	11,724	11,301
賞与引当金	73,168	45,187
その他	119,913	112,328
流動負債合計	409,580	380,646
固定負債		
長期借入金	45,020	179,860
退職給付に係る負債	430,842	446,392
繰延税金負債	229	-
固定負債合計	476,091	626,252
負債合計	885,672	1,006,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	649,757	550,042
自己株式	△165,878	△165,878
株主資本合計	2,905,050	2,805,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,925	5,736
為替換算調整勘定	△1,094	△2,458
その他の包括利益累計額合計	4,831	3,277
純資産合計	2,909,882	2,808,613
負債純資産合計	3,795,554	3,815,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	931,699	779,302
売上原価	449,737	498,506
売上総利益	481,962	280,795
販売費及び一般管理費	372,527	303,879
営業利益又は営業損失(△)	109,434	△23,084
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,270	2,008
売電収入	7,008	6,977
貸倒引当金戻入額	2,200	1,000
その他	1,143	1,625
営業外収益合計	12,622	11,611
営業外費用		
支払利息	381	376
売電費用	4,329	3,828
為替差損	4,905	9,275
営業外費用合計	9,616	13,481
経常利益又は経常損失(△)	112,440	△24,954
特別利益		
有形固定資産売却益	799	-
投資有価証券売却益	8,340	-
特別利益合計	9,139	-
特別損失		
固定資産除却損	26	0
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,554	△24,954
法人税等	50,516	△511
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,037	△24,442
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71,037	△24,442

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,037	△24,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,498	△188
為替換算調整勘定	△1,484	△1,364
その他の包括利益合計	△2,982	△1,553
四半期包括利益	68,054	△25,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,054	△25,996
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,554	△24,954
減価償却費	34,773	37,967
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,200	△1,000
受取利息及び受取配当金	△2,270	△2,008
支払利息	381	376
為替差損益(△は益)	5,113	8,380
有形固定資産売却損益(△は益)	△799	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,340	-
有形固定資産除却損	26	0
売上債権の増減額(△は増加)	286,536	535,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△318,169	△110,917
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,353	4,910
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44,975	△27,975
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,886	15,549
その他	△107,478	△9,417
小計	△119,315	426,755
利息及び配当金の受取額	2,235	2,161
利息の支払額	△379	△685
法人税等の支払額	△83,866	△1,445
法人税等の還付額	-	11,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,326	438,378
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△47,120	△20,021
有形固定資産の売却による収入	800	-
無形固定資産の取得による支出	△10,250	-
投資有価証券の売却による収入	35,630	-
その他	99	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,841	△19,921
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	140,000
長期借入金の返済による支出	△5,160	△5,160
配当金の支払額	△203,325	△73,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,485	60,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,605	△7,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435,257	471,492
現金及び現金同等物の期首残高	1,329,855	998,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,597	1,470,393

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	295,375	147,742	488,582	931,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	295,375	147,742	488,582	931,699
セグメント利益	65,401	31,359	185,939	282,700

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	282,700
全社費用(注)	△162,299
棚卸資産の調整額	△10,967
四半期連結損益計算書の営業利益	109,434

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	226,807	272,980	279,514	779,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	226,807	272,980	279,514	779,302
セグメント利益又は損失(△)	33,429	△5,328	78,428	106,528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,528
全社費用(注)	△137,617
棚卸資産の調整額	8,004
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△23,084

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度までは、電子応用機器・装置事業の単一セグメントでしたが、経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、第1四半期連結会計期間より、「X線残留応力測定装置関連」、「ヘルスケア装置関連」、「光応用・特殊機器装置関連」の3つのセグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

### 3. その他

生産、受注及び販売の状況

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	216,709	46.9
ヘルスケア装置関連	313,627	77.8
光応用・特殊機器装置関連	385,904	45.1
合計	916,241	53.3

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	257,559	84.7	124,323	59.9
ヘルスケア装置関連	1,107,382	174.8	1,284,297	149.5
光応用・特殊機器装置関連	317,440	52.3	660,994	77.4
合計	1,682,382	108.9	2,069,616	107.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	226,807	76.8
ヘルスケア装置関連	272,980	184.8
光応用・特殊機器装置関連	279,514	57.2
合計	779,302	83.6

(注) 1. 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東洋紡株式会社	—	—	189,369	24.3
株式会社日立ハイテク	111,769	12.0	152,252	19.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。